

第2節 空間放射線量測定について

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射線量の影響に対する市民の関心と不安が広まったことから、空間放射線量を把握するために、空間放射線量の測定を行っています。また、市民を対象に、空間放射線量測定器の貸出しを行っています。借用手続き等の詳細については、市公式ホームページに掲載しています。

①公共施設空間放射線量の測定結果

平成23年9月から、市役所及び地区センター5か所（旧支所）で、空間放射線量の測定を定期的に行っていましたが、令和6年度から市役所敷地内1地点において、年1回測定しています。結果は市公式ホームページにも掲載しています。

令和7年9月の入間市役所における測定結果は次表のとおりです。国際放射線防護委員会（ICRP）が定めた平常時の放射線量の基準である年間1mSvを下回りました。

施設名	測定の高さ 50cm				測定の高さ 100cm			
	測定値（ $\mu\text{Sv}/\text{時}$ ）		年間換算値（mSv/年）		測定値（ $\mu\text{Sv}/\text{時}$ ）		年間換算値（mSv/年）	
	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大
入間市役所	0.042	0.078	0.368	0.683	0.047	0.096	0.410	0.841

②周辺より高い放射線量が予測される箇所の測定

国（内閣府、文部科学省、環境省）から「当面の福島県以外の地域における周辺より放射線量の高い箇所への対応方針」及び「放射線測定に関するガイドライン」が示されたのを受けて、平成23年11月下旬から市の公共施設等を対象にして、建物の雨どいの下、側溝、集水樹など、通常より高い放射線量が予測される箇所について測定を実施しました。市では、市内における周辺より放射線量の高い箇所への暫定的な対応方針を市独自で策定しており、今後、定期測定を実施していくなかで、対応方針で示した0.23mSv以上の値を確認した場合は、再測定等の対応を行います。測定地点並びに対応等の詳細については、市公式ホームページに掲載しています。